

導入

先生たちが2つ挨拶をしてみます。
どんな挨拶をしているか考えてみましょう。

児童の心の動き

- ・にこにこしている。(その場ににこにこしてみる)
- ・にこにこしていない。
- ・顔を見て言っていないよ。その挨拶は嫌だなあ。

実態

○入学、進級後2週間経ったばかりの特別支援学級
1,2年生児童であり、学校生活に慣れる段階である。
細かい表情の変化を読み取ることに難しさを感じている。

みつばち学級(1,2年)

主題名:あいさつをしよう
(B 礼儀)

「あいさつのことば」



ねらい

★気持ちのよい挨拶をしようとする心情を育てる。

工夫

- ・書く活動の工夫
→挨拶に合った表情を選んで貼ることを通して達成感を得られるようにする。
- ・教材を提示する工夫
→身近な生活場面を取り入れ、自分事として捉えられるようにする。
- ・表現活動の工夫
→音楽の雰囲気に合わせて動き、感情、言葉の表現を結び付ける。

どのような表情で挨拶をすると気持ちのよい挨拶になるのか考えましょう。

挨拶をすると自分や相手はどのような気持ちになるのかを考えましょう。



いただきます。

さようなら。

おはよう
ありがとうございます。

にこにこ笑顔で、挨拶するのがいいね。



協議会を通して学んだこと

教具……挿絵を用いることで、どのような挨拶や言葉が必要であるか考えることができていた。

挨拶のよくない例を教師が示すことで、「言っていない。」「嫌だな。」「相手の方へ向いていない。」といった言葉を引き出し、挨拶の仕方の違いについて考えることができた。

表現活動…音楽の雰囲気に合わせて表情を考える活動により、言葉で表現しようとする姿が見られた。

振り返り…実際に先生方に「お願いします。」や「ありがとうございます。」を言う活動を通して、相手を意識して礼儀正しくすることのよさを味わっている姿が見られた。

先生たちとの関わりの中で、礼儀のよさについて実感的に理解を深めることができた。

その他……「気持ちのよい挨拶」と「かっこいい挨拶」が混在していたため、言葉の選定が必要である。